

フィリピン移住労働者省（DMW）大臣一行との意見交換会及び昼食会に出席

日本船主協会は、2026年5月27日、在日フィリピン共和国大使館の主催により開催された、フィリピン共和国移住労働者省（The Department of Migrant Workers : DMW）ハンスレオJ.カクダク大臣一行との意見交換会および昼食会に招待を受け出席した。

本会合には、フィリピン側から DMW 大臣をはじめ、DMW フェリタス Q. ベイ次官、海外労働者福祉庁（The Overseas Workers Welfare Administration : OWWA）パトリシア イボンヌ M. カウナン長官の他、関係政府機関の代表者が出席し、日本側からは、日本船主協会の長澤会長、篠原理事長、越水常務理事、加藤海事人材部長他、全日本海員組合の田中組合長代行、大山国際局外航部長、土屋外航部副部長、豊満 ITF インスペクター、国際船員労務協会の綾会長、池田常務理事、佐藤次長が出席した。

意見交換では、フィリピン人船員が世界の海運および日本の外航海運を支える極めて重要な存在であることを再確認するとともに、特に中東・ペルシャ湾内にとどまる船員の安全確保への懸念も共有された他、船員の安全、健康や福祉の向上、フィリピン人船員の諸手続きに関する対応など、多岐にわたる事項について意見が交わされた。また、海事分野における長年の協力関係を基盤として、今後も関係者間の継続的な対話と連携を強化していくことの重要性について認識が共有された。

さらに、最近の国際情勢への対応に関連し、中東地域におけるフィリピン人船員の交代について、関係者間の対話および日本船主協会と国際船員労務協会による要望等も踏まえ、条件付きで実施が可能とされた措置に関し長澤会長より謝意が表明された。

本会合を通じて、日本とフィリピンの海事分野における協力関係を引き続き維持・発展させていくことを確認した。

ハンスレオJ.カクダク DMW 大臣及びフィリピン政府機関関係者との記念写真



DMW 大臣 ▲ ▲長澤会長